

令和8年度 ご挨拶

本校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

令和8年度、愛媛県立八幡浜高等学校は、八幡浜工業高等学校および川之石高等学校との統合を経て、南予地区の学びの中核を担う新たな歴史の一步を踏み出しました。

本校の前身である西宇和郡立商業学校が1901年(明治34年)に開校されて以来、いくつかの変遷を経て、1949年(昭和24年)に愛媛県立八幡浜高等学校が誕生し、現在に至ります。創立以来3万人を超える有為な人材を輩出してきた伝統を礎に、普通科、ビジネスクリエーション科、みらい創造工学科そして総合学科を併設する、多様性と専門性を兼ね備えた学び舎として生まれ変わりました。120年を超える伝統に、新たな学びを加え、これからの社会に求められる人間の育成を目指します。

私たちは、新たな本校の校訓として、「和・智・創(わ・ち・そう)」の三文字を掲げました。

第一に「和」です。これは単なる仲の良さを意味するものではありません。異なる背景を持つ三校の生徒が集い、それぞれの個性を認め合い、調和の中で切磋琢磨することです。

第二に「智」です。変化の激しい現代社会において、断片的な知識を蓄えるだけでは不十分です。物事の本質を見極め、自ら問いを立て、生涯を通じて学び続ける姿勢を養い「叡智」を磨くことです。

第三に「創」です。これは新しい価値を生み出す力です。受け継がれてきた伝統を大切にしながらも、過去の慣習にとらわれず、未来を自らの手で切り拓く「創造」の精神を持ち、失敗を恐れず、果敢に挑戦することです。

この「和・智・創」の精神を具現化する学びの場として、本校は学科の垣根を越えた「学科横断的学習」を推進してまいります。最新のICT設備やSTEAM教室を活用した探究活動、地域や企業と連携したプロジェクト学習など、ものづくりの知恵、ビジネスの視点、そして探究する心。これらが融合することで、予測困難な社会を生き抜く「真の実力」が身につくとの確信のもと、地域の、日本の、そして世界の未来を担う人材を育てていく決意です。

中学生、小学生の皆さん、本校には学科を超えた交流の中で切磋琢磨する環境や南予最大規模の活気ある部活動があります。失敗を恐れず挑戦し、自らの可能性を信じて進む皆さんを、私たちは全力でサポートします。そして皆さんとの将来の学びを楽しみにしています。

最後に「学校が地域を支え、地域が学校を育てる」という統合理念のもと、保護者の皆様、地域の皆様とともに、八幡浜高等学校の輝かしい未来を創り上げてまいりたいと存じます。今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

愛媛県立八幡浜高等学校 校長 川野 光正